

令和5年度親子ふれあいデー活動

目次

☆委嘱校

☆活動報告

1. 玉名市立玉陵小学校P T A 1
2. 山鹿市立八幡小学校P T A 2
3. 菊池市立菊之池小学校P T A 3
4. 合志市立西合志第一小学校P T A 4
5. 大津町立大津東小学校P T A 5
6. 合志市立合志南小学校P T A 6
7. 嘉島町立嘉島中学校P T A 7～8
8. 嘉島町立嘉島西小学校P T A 9
9. 御船町立七滝中央小学校P T A 10
10. 宇土市立走瀉小学校P T A 11
11. 宇土市立鶴城中学校P T A 12
12. 美里町立砥用小学校P T A 13～14
13. 宇城市立小野部田小学校P T A 15
14. 宇城市立不知火小学校P T A 16
15. 上天草市立姫戸小学校P T A 17
16. 上天草市立登立小学校P T A 18
17. 天草市立楠浦小学校P T A 19
18. 八代市立松高小学校P T A 20
19. 芦北町立湯浦小学校P T A 21
20. 人吉市立東間小学校P T A 22
21. 人吉市立第一中学校P T A 23
22. 水上村立水上学園P T A 24

令和5年度親子ふれあいデー活動委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名市	玉名市立玉陵小学校PTA
2		山鹿市	山鹿市立八幡小学校PTA
3		菊池市	菊池市立菊之池小学校PTA
4		合志市	合志市立西合志第一小学校PTA
5		合志市	大津町立大津東小学校PTA
6		合志市	合志市立合志南小学校PTA
7		上益城郡	嘉島町立嘉島中学校PTA
8		上益城郡	嘉島町立嘉島西小学校PTA
9		上益城郡	御船町立七滝中央小学校PTA
10	県南	宇土市	宇土市立走潟小学校PTA
11		宇土市	宇土市立鶴城中学校PTA
12		宇城市・下益城郡	美里町立砥用小学校PTA
13		宇城市・下益城郡	宇城市立小野部田小学校PTA
14		宇城市・下益城郡	宇城市立不知火小学校PTA
15		上天草市	上天草市立姫戸小学校PTA
16		上天草市	上天草市立登立小学校PTA
17		天草郡市	天草市立楠浦小学校PTA
18		八代郡市	八代市立松高小学校PTA
19		葦北郡	芦北町立湯浦小学校PTA
20		人吉市	人吉市立東間小学校PTA
21		人吉市	人吉市立第一中学校PTA
22		球磨郡	水上村立水上学園PTA

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名（ 玉名市立玉陵小学校 ）		児童生徒数（ 317 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 単P その他	20000円	（支出） 交通旗、反射板等 20000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 本校は、校区が広範囲であることから、半数以上の児童がバスで通学しています。そのため地域や保護者とのふれあいをより意識した活動が求められています。そこで、旧小学校区で保護者による「あいさつ運動」を毎月実施し、保護者と児童とのふれあい活動を行っています。また学校周辺では、学校運営協議会の委員や地域見守りボランティアによる登下校時の見守り活動も毎日行っています。また今年度から親子ふれあいレクリエーションが復活し、それぞれの学年で大変盛り上がりました。			
◎成果 ・「あいさつ運動」は、4月当初から継続することで、次第に大きな声がでてきたり、地域や保護者とのやりとりができてきたりして、ふれあいの場になりました。 ・親子ふれあいレクリエーションは、どの学年も保護者の方が事前の準備を入念にされ、子供達が大喜びするだけでなく、親子で大変盛り上がっていました。保護者同士の横のつながりもできたようです。			
◎反省 ・「あいさつ運動」は、地域の方や職員が事前に準備し、指導を行っていますが、PTAとしてどんな事ができるかを、検討する必要があると考えています。			
3. 今後の取り組みについて			
・予定していた親子ふれあいレクリエーションが、予定通り実施できました。今年度の反省等を来年度に生かしたいと考えています。			
4. 要望・その他			
・このような助成金事業に大変感謝しています。ありがとうございました。			
			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (山鹿市立八幡小学校PTA)	児童生徒数 (200) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 八幡フェスタ施設使用料等 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1 八幡フェスタ 今年度、学校施設の工事に伴いPTA恒例行事の「ふれあい秋まつり」を変更し、近隣の公共体育施設を借用し、スポーツイベントとして「八幡フェスタ」を実施した。低学年から高学年まで楽しめ、保護者や地域の方も気軽に参加できる「輪投げ」、「モルック」、「グランドゴルフ」の3種目を計画した。「輪投げ」は保体委員会が、「モルック」はイベントサポート部が、「グランドゴルフ」は執行部がそれぞれ進行を行った。 児童は保護者や地域の方々と共に希望した種目から意欲的に参加し、グループごとに得点を競い合い、元気いっぱい活動していた。場面によっては親子で種目に参加し、笑顔で会話、ふれ合いながら活動した。地域の方の参加も多数あり、グランドゴルフでは地域の方が子どもたちに直接教える場面があり、地域の方と交流する貴重な機会となった。	
2 鏡開き・ゲーム大会 どんどやの代替行事として実施した。地域の方々、ご来賓をお迎えし、ぜんざいや焼いた餅などをふるまった。	
3 PTA学年レクリエーション 学年委員を中心としてレクリエーション内容を検討し、各学年の児童と保護者、職員で楽しく活動する機会を設け、親子の触れ合いや親同士の親睦を目的とし、レクリエーションを実施した。 1年生学年レクリエーションは近隣施設で親子バーベキューを実施。2年生学年レクリエーションは樹脂粘土を使った親子マグネットづくりを実施。3年生学年レクリエーションは夜の学校で保護者が作成した謎解きゲームを実施。4年生学年レクリエーションは親子勾玉づくりを実施。5年生学年レクリエーションは親子竹細工づくりを実施。6年生学年レクリエーションは1泊2日の親子キャンプを実施した。特に6年生のキャンプについては、ブッシュクラフト(火起こし体験等)、羽釜御飯炊き体験を児童と保護者が力を合わせて行い、できた御飯を会食するなど親子の絆を深める時間となった。	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・PTAスポーツイベントとして「八幡フェスタ」を初めて実施し、身体を気持ちよく動かすとともに、保護者や地域の方と一緒に楽しみながら過ごすことで、PTA行事に喜んで参加する児童が増えてきている。 ・PTA学年レクリエーションでは、学年委員(保護者)が主体的にイベントを計画し、親子関係や親の横のつながりを大切にしたい取組を実施し、学級のまとまりにつながっている。 ・親子で活動するイベントに学校職員も関わり、職員と児童、職員と保護者の連携協力をより一層強めている。 ・主なPTAイベントについては実施した内容を、学級だよりや学校だよりで発信し、PTA活動の啓発につなげた。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA行事に児童、保護者及び地域住民の方の参加が多くなるように、PTA役員でより良い計画、運営をしていく必要がある。 ・感染症の感染防止対策に加え、熱中症対策にも注力し、参加者の安全・安心を保てるよう組織的な取組を行っていく必要がある。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は新体育館が完成することから「ふれあい秋まつり」を再開するのか、スポーツイベントを発展させるのか協議をし、保護者や地域の方のご意見を大切にしながら、より多くの方々が気軽に参加できるようにし、PTA親子活動を充実させる。 ・PTAイベントの終了後に、学校だよりや学級通信による発信だけでなく、連絡アプリを導入して活用するなど、発信方法を工夫したい。 	
4. 要望・その他	
特に要望はありません。本校において貴重な予算となっており、感謝しております。大変お世話になりました。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (菊池市立菊之池小学校)	児童生徒数 (288) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000 円	(支出) 20,000 円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>12月19日(火)に、家庭・地域と学校をつなげる企画として、吉本興業さんの協力のもと「菊之池新喜劇」を実施した。5・6年生がプロの芸人(もっこすファイヤーさん、安井政史さん)さんに表現力やコミュニケーションの力、創造力等などについて学んだ。</p> <p>当日は、漫才(児童オリジナル作品)8本、新喜劇4本(台本は、安井政史さん作成)と、内容は盛りだくさんであったが、400人を超える参観者の前で、堂々とした発表をすることができていた。1組目の漫才の発表から、会場は爆笑の連続で、子供達の発表を会場全体で盛り上げる雰囲気になっていた。会の最後には、もっこすファイヤーの漫才を見ることができ、「さすがプロの芸人さんの漫才だ。」と、発表した5・6年生も感心していた。</p> <p>また、菊池市長も来校され、地域・保護者の方々と一緒に子供達の発表を楽しまれていた。笑いを通して地域社会を明るく、元気を与えたるイベントとなった。</p>	
   	
<p>◎成果</p> <p>5・6年生全員が、漫才や新喜劇に挑戦し、多くの人達の前で発表することができた。これまで発表を苦手としていた子供達が、練習の成果を発揮し堂々と演技をしている様子が素晴らしかった。当日は、関係保護者や地域の方、来賓など多くの方々に来校され、子供たちの発表を見られた。「大笑いしました。楽しい時間でした。」「テレビを見ているようでした。」「素晴らしい演技に感動しました。」など、数多くの声を聞くことができた。</p>	
<p>◎反省</p> <p>体育館を会場実施したが、全校児童の前での発表ということもあり、参観者の制限を行わなくてはならなかったことが残念であった。また、発表時間が予定より大幅に伸びたことも反省である。事前の確認をし、日程の調整をする必要があった。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>以前は、10月に区長会を中心に、学校のグラウンドにて家庭・学校・地域が一緒に取り組む「ふれあい祭り」が行われていた。地域の一大イベントとなっていたので、次年度以降は今年度以上に、家庭・学校・地域が連携した活動を進めていきたい。</p>	
4. 要望・その他	
<p>急遽、内容を変更しての実施となりましたが、親子ふれあいデー活動の助成をいただいたことで、家庭・学校・地域が一体となった活動を行うことができました。ありがとうございました。今後も、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。</p>	

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名（ 西合志第一小学校 ） 児童生徒数（ 84 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P : 20,000円 単P : 9,522円 その他	（支出） PTAレクリーション：19,280円 （参加賞、景品、飲み物代） 愛校作業：10,242円
① 親子愛校作業	② 親子PTAレクリーション
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 1, 親子愛校作業 2, 親子PTAレクリーション	 
11月18日（土）に親子愛校作業を行い、その後行事活動委員会を中心にPTAレクリーションで、おにぎりころりんバレーを実施した。	
◎成果 毎日お世話になっている校舎の周りや校庭を親子で一緒になり草取りや清掃を行った。親子で協力して作業を実施したことで、コミュニケーションもでき校内もきれいになり、学習しやすい環境になった。 また、PTAレクリーションでは、久しぶりに顔を合わせる保護者の方もおり親睦を深めることができた。子どもたちも保護者と一緒になりレクリーションができたことで、良い思い出作りとなった。	
◎反省 新型コロナ感染症の影響で3年間活動ができていない中で、久しぶりのPTAレクリーションであったが親子で参加、開催することができたことは良かった。 次年度は、もっと多くの方に参加してもらえるように内容を見直しながら活動を進めていきたい。	
3. 今後の取り組みについて	
次年度以降も保護者間と子どもたちとのコミュニケーションをとれるようにレクリーションを継続していきたい。また、新型コロナ感染症の影響で地域の方々とのつながりが薄くなっているところもあるので、地域との連携も深めていきたい。	
4. 要望・その他	
県PTA連合会様の助成をいただくことで、PTA活動も子どもたちにとってより良い教育活動につながっていると感じています。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名（合志市立合志南小学校）	児童生徒数（715）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 20,000円	（支出） 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子で取り組む「朝ごはんコンクール」を行った。親子で協力して朝ごはんを作り、作った朝ごはんを絵や写真で紹介する。親子で感想や工夫したことなどを書き提出する。 ○応募された作品の中から、「PTA会長賞」や「校長賞」などの入賞作品を選考し、賞状及び副賞（図書カード）を授賞する。 	
	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5・6年生の児童は、家庭科で学習した“栄養素”などを考慮し、見た目や色合い等も創意工夫した朝ごはんを作ることができた。 ○親子のふれあいの機会となった。 ○児童の感想と保護者の感想を両方とったことから、親子でどのように工夫したのかがわかり大変良かった。 ○各賞を取り入れたことで児童の励みになった。副賞に図書カードを与えることができた。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本来は、7月頃周知し、夏休みに取り組むべきであったが、案内が遅れてしまったので、次年度は、夏休み前に募集の案内を周知したい。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ○児童や保護者に大変好評であるため、次年度以降も継続して取り組んでいきたい。 ○これまで「朝ごはん」限定で募集していたが、「おにぎり部門」や「みそ汁部門」など、募集部門を増やすことで、より多くの児童・保護者の参加を目指したい。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○食を通して親子のふれあいができるよい取組となった。このような機会を与えていただきありがとうございました。継続して取り組んでいきたいと思っております。 	

親子ふれあデー活動「家庭・学校・地域との交流活動」活動報告書

令和5年度

単位PTA名	嘉島町立 嘉島中学校PTA	(生徒数 308名)
1. 予算執行状況 (収入・支出)		
【収入】	県P 20,000	【支出】 20,000
	単P 0	花苗 刈払機用混合油
	その他 0	
2. 活動内容・成果・報告		
(グラウンド・正門付近の状況)		
<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドのトラック近くまで草が生えている。 ・小さな草の為、手作業が必要。 ・グラウンド周りは刈払機で除草可能。 		
(玄関横花壇の状況)		
<ul style="list-style-type: none"> ・伸びた雑草と一緒に花が咲いている。植えてある花が区別できない。 		
【活動内容】		
①親子のふれあいを目的とする。先生や保護者間の交流や協力の場として、学校の除草作業を行う。		
②今年度は5月(3年生・体育祭前) 8月(2年生・新学期前) 10月(1年生・卒業式に向け植樹等)に実施し、学年ごとの参加にする。		
③5月、8月はグラウンド周辺や正門付近の除草作業を主に取り組み、10月は除草作業を実施した後、玄関横の花壇に花を植える。		
(除草作業実施)		
<ul style="list-style-type: none"> ・5月・8月は早朝6時より保護者と先生が集合し、グラウンドトラック内の草を手作業で抜いていき、トラック周辺は刈払機を使用し除草作業をしていった。 ・正門周辺は手作業で草を刈り、同様にテニスコート付近・体育館付近も手作業で除草作業を行った。 ・10月は早朝6時半より中学1年生と保護者・先生と集合、グラウンドトラック内外を手作業または刈払機で除草作業を行った。 ・正門周辺は手作業で草を刈った後、花壇の草を抜き既に枯れている花も抜いた。 		
		



- ・ 玄関横の花壇の草を抜いた後、環境委員会の保護者の方々が段取り良く並べ数種類の花を子ども達が植え、最後に水を撒いて花壇は終了した。



【成果】

- ・ 手作業での除草はたいへんだったが、沢山の方々のおかげでグラウンドも、花壇もとても綺麗になった。コロナ禍の昨年までは保護者同士の話をする機会が取れなかったので、今回はとても良い時間になったと思う。
- ・ 担任の先生以外の先生と話す事も出来たので良かった。

【反省】

- ・ 除草する箇所が多いので、全てを取り除く事が出来なかった。5月～8月は草の成長が早く、暑い中の作業は大変であり参加者の確保も難しく、少ない人数での作業となった。グラウンドの中の草が強く根を張り抜けにくく、今後は砂の入れ替えも検討する必要がある。

3. 今後の取り組みについて

- ・ 卒業式に向けて、花壇のお世話を生徒会の委員会の子ども達にお願いしたい。次年度も引き続き除草作業を行っていきたいと考える。

4. 要望・その他

- ・ 特になし。

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名（ 嘉島町立嘉島西小学校 ）		児童生徒数（496）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入） 県P 20,000円 単P 17,000円		（支出） バルーンアートショー代 37,000円	
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
・感染症対策に十分注意を払いながらPTA主催のバザーを開催。 今回の目玉企画として、バルーンアートショーを実施。（今回の委嘱金はこの活動に使用）			
・学年レクリエーション（1年生：しめ縄作り、2年生：サイエンスショー、3年生：クリスマスリースづくり、4年生：ミニ運動会、5年生：ステンドグラス工作、6年生：コサージュ作り）			
・門松・ミニ門松作りを開催。			
◎成果			
・バルーンアートショーでは、親も子も皆が笑顔になれた貴重な時間となりました。			
・学年レクリエーションにおいては、各学年の学年委員さんが、親子で楽しく過ごせる時間を作ってもらおうと企画、実施できました。			
・門松・ミニ門松作りは毎年恒例の行事となりつつある。先生方や保護者、子供たちが力を合わせ門松を作製。伝統行事への関心を高める機会にもなっている。			
◎反省			
・多くの方が参加しやすく、充実した活動になるような内容を今後も検討していく。			
・地域の方々を巻き込んだ活動を企画・実施していきたい。			
3. 今後の取り組みについて			
・子供たちの健全育成のためには、学校・家庭・地域が一体となり、お互いの信頼関係のもとで教育活動を推進していく必要があります。その中で、PTAが果たす役割は大きく、今後もPTAが主体となり、様々なふれあい活動の機会を通して、学校・家庭・地域間の信頼関係の構築及びPTA活動の充実や啓発活動に努めていきます。			
4. 要望・その他			
・今回も親子ふれあいデー活動の委嘱を受けることができ、大変有難かったです。ありがとうございました。			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (御船町立七滝中央小学校)		児童生徒数 (70) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 0円	(支出)	①「田んぼ借地」費用 5,000円 ②「玉ねぎ植え」交通費 5,000円 ③④太鼓技術指導講師代 10,000円
合計	20,000円	合計	20,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
①「田植え」(5年児童)～「稲刈り」(5年児童)～「餅つき会」「門松づくり」(全校児童) ・6/22(木) 地域の方からお借りした田んぼで、地域の方のご指導の下「田植え」を行った。 ・10/24(火) 地域の方々のご指導・ご協力の下「稲刈り」を行った。 ・12/10(日) 5年生が収穫したもち米で「餅つき会」(同時に「門松づくり」)を行う予定だったがインフルエンザ流行のため中止となった。			
②「玉ねぎ植え」(1・2年児童)～「玉ねぎ掘り」(翌年度2・3年児童) ・12/10(日) 地域の方からお借りした畑で、地域の方々のご指導の下「玉ねぎ植え」を行った。 ・来年度の5月に「玉ねぎ掘り」を行う予定。			
③「能寛太鼓」(5年児童) ・9/25(月) 地域の祭「平蔵祭」は中止となった。 ・11/26(日) 地域の祭「七滝ふるさと元気祭り」に出演。			
			
④「新風太鼓『響』」(6年児童) ・5/14(日) 地域の祭「七滝祭り」に出演。 ・10/29(日) 地域の祭「北田代『美緑のむら里祭り』」に出演。 ・11/23(木) 地域の祭「宮部兄弟慰霊祭」に出演。			
			
◎成果			
①② ・地域の方々と、「田植え」「稲刈り」「玉ねぎ植え」等の体験活動をすることで、食と農の大切さや苦勞・工夫を学ぶことができた。 ・地域の方々と一緒に活動し、交流を深めることができた。			
③④ ・代々、上級生から下級生へと伝えている。他学年交流の教え(学び)合い学習をすることで、下級生にとっては上級生への尊敬の念、上級生にとっては自己有用感を高めることができたと思う。 ・地域の祭で披露することで、日頃お世話になっている地域の方々に喜んでいただいた。また児童にとっても練習の成果を発表する場となり、達成感を味わえる機会となった。			
◎反省			
① インフルエンザ流行のため、PTA主催の「餅つき会」と「門松づくり」が中止となった。			
3. 今後の取り組みについて			
今後も、感染症予防対策を講じながら、できるだけ「ふれあい活動」を実施していきたい。			
4. 要望・その他			
児童にとって「自然体験活動」や「地域(家族)とのふれあい活動」等は大変価値のあるものだと考えます。今年度も2万円を助成していただき、心より感謝申し上げます。			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (宇土市立走潟小学校PTA)	児童生徒数 (98) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000円 単P 19748円	(支出) フラバーボール備品代 9748円 コサージュ材料代 30000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1. 学年別保護者対抗フラバーボール大会 (6月30日実施済)	
2. コサージュ作り (R6年2月9日実施)	
◎成果	
1. 子ども達が学年で一丸となって保護者を応援する姿は、新鮮であって盛り上がった。保護者同士のコミュニケーションの場になり、PTA活動や学校行事への感心も高まった。大人が協力して頑張っている姿を子ども達に見せることができ、学年での一体感が生まれた。	
2. 地域住民の方を講師に迎え、PTA役員と小学5年生の生徒を対象に実施しました。卒業生への感謝の気持ちと4月に迎える新入生への歓迎の気持ちを込めて作成しました。同時に地域住民の方々との繋がりになりました。初めての体験に興味津々の子ども達は終始真剣に取り組んでおりました。	
◎反省	
1. 今後の感染対策について検討の余地がある。開催が梅雨時期だったので、今後開催時期を検討する必要がある。	
2. コサージュ作りに関しては特になし。	
3. 今後の取り組みについて	
・今後も親子や学級、地域の方々と交流出来るような企画を検討していきたいと思います。	
・現在走潟町では町の活性化のため、様々な団体や地域の取り組みがある。地域の川まちづくりや蛍の放流等、地域から小学校への発信が多い。PTAと致しましても町の発展のために、町の美化活動や地域交流の機会を増やして地域に貢献できる活動を検討していく。	
4. 要望・その他	
・今後もこの活動を継続してほしいです。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (宇土市立鶴城中学校)		児童生徒数 (847) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	¥20,000	(支出) 材料費等
	単P	¥1,178	謝礼費
	その他		
	計	¥21,178	計
			¥18,756
			¥2,602
			計 ¥21,178
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<p>本校PTAでは、令和5年12月9日(土)に親子ふれあい活動として、「門松づくり」と今年度の新たに、「防災食」づくりに取り組みました。校門用門松とミニ門松の制作をPTA、一歩前の会、生徒達。また防災食に生徒、宇土市役所の方、地域ボランティア、PTA役員と協力して実施。生徒62名、保護者、PTA役員30名での活動。「防災食」についてのミニ講話を取り入れる。</p>			
◎成果			
<p>ミニ門松づくりでは、たくさんの生徒達が参加。それぞれ思いのこもったデザインに仕上がりに、作り方や工具の使い方の工夫など生徒の声がかえりとても賑やかでした。防災食では、ほぼ「初めてチャレンジしました。」の声が多く、ミニ講話もしっかり聴いてくれた姿が印象的。熱々の食事を簡単に美味しくできることを喜んでました。何より、みんなで座って食べることが、コロナ禍を経験してより楽しめたと思います。</p>			
◎反省			
<p>伝統行事である門松づくりを、引き続き保護者の皆様に認知度を上げていく為に続けていきたい。初めて行った防災食は、うまく導線が引けていなかったため、子どもたちの誘導に手間が掛かってしまった。もう少し細かい役割分担や打ち合わせが必要だった。参加した皆さんが喜んでくれたことが良かった。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>門松づくりの時にお手伝いを頂いている「一歩前の会」は、ボランティアなので、保護者や地域の方への認知度を上げる為にアナウンスを続けていく。</p>			
4. 要望・その他			
<p>今回予算を使わせていただいたことで、新たな活動に取り組むことができました。ありがとうございました。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (砥用小学校PTA)	児童生徒数 (98) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 26,220円 計 46,220円	(支出) 花苗代 38,220円 土、肥料代 8,000円 計 46,220円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>本校PTAでは、今年も生活委員会が主となり、11月に親子ふれあいファミリープランターを実施した。この活動は、花の苗を親子でプランターに植え、家庭で花を育てながら親子の会話を増やし、玄関や庭にプランター等を置き地域の方々との交流の一助になればと10年ほど前から継続して取り組んでいる。本年度は、11月26日(日)に、花苗の3種類(シクラメン・ビオラ・アリッサム)から1種類ずつ3苗を選んで、植えてもらった。</p>	
<p>◎成果</p> <p>好きな色や丈夫そうなものを選ぶ際に会話が交わされとてもほほえましかった。日曜の午前中(1時間30分の間)に、PTA会員の約60%の方の来校があった。当日、予定が入っていて、参加できないところもあったが、1週間植える期間を設定したところ、全体で約71%の家庭が実施できた。(11%増えた)ファミリープランターの実施後、家庭での様子を聞いたところ、親子や祖母との会話が増えたり、花についてネットで調べたりしたという話を聞いた。花の元気がなかったら、親と相談して肥料を与えるなど一緒に世話した家庭があった。その他、今回の活動を通して親子の会話が増えた家庭が多くみられた。</p>	
<p>◎反省</p> <p>当日クラブチームの試合と重なり、来られないという家庭もあったが、1週間いつ来ても植えられるように準備をしておいたことで参加率が上がった。1週間で10名ほど植えに来られた。参加できる時期や時間帯、啓発をしながら来年度にいかしていきたい。また、植えたプランターを家に持ち帰るため、その後の取組の状況や活動の把握が難しい。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>ファミリープランターの実施を楽しみにされている方もいる一方、植えたプランターは各家庭に持ち帰るため、その後の活動やプランターの状態がどうなっているか把握できていない。学級懇談や学級だより等で今の状況を聞いたり、親子の話題にしてもったりするよう働きかけを行っていく。今度も活動時期や周知方法、活動内容を工夫しながら、多くの家庭が参加できるよう継続、努力していきたい。</p>	
4. 要望・その他	
<p>本校も年々PTA会員数が減少し、花苗や肥料等の購入費用の捻出が難しくなりつつある。また、苗や肥料等も値上がりしていた。親子の貴重なふれあいの機会と捉えており、継続していきたい。その際、PTA会員数が減ってきているため、今後も一人3苗植えられるかどうか、活動資金面で心配である。</p>	



親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名（ 宇城市立小野部田小学校 ）		児童生徒数（ 102 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入） 県P 補助金 20,000円 単P 補助金 7,000円 その他保護者より 3,000円		（支出） 1,500円×20人＝30,000円 （バナナボート代） ※その他費用は各自で持寄	
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野部田小学校の地域を知るためにプールの水源となる御手洗水源を探索する。そして、水の大切さや水難事故などの怖さを知る体験をする。 ・小学校の教室をキレイにして、教室に宿泊する。 ・体育館で肝試しをして、日頃活用している施設が夜間どのくらい暗いかを体験する。 ・美里町のB&Gでバナナボート体験をする。 			
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな怪我もなく、無事にすべての活動ができたのでよかった。 ・コロナ禍の影響もあり、6年間の活動の中で、3年間はほぼ空白となり、十分な活動ができていなかった。しかし、本年度はみんなが集まることができ、子供たちは活動中笑顔で楽しそうだった。 ・保護者も一緒に学校に宿泊（親は会議室に宿泊）した際に、自分たちが子供のころに泊まった体験などで盛り上がり、保護者も親交を深めることができた。 			
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が明けてからの準備を行った。（5月始動）7月実施だったため、準備期間がなく、苦労したこともあったが、なんとか実施できた。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・この3年間は満足に各学年が活動できない状況が続いていたため、学年での活動をより活発にしていけるように、活動の内容を次の世代に伝えていきたい。 			
4. 要望・その他			
<p>今回は、活用させていただき、有意義な活動ができました。中間報告会でも他の小学校や中学校が実施している活動を聞けるのも、この活動に参加した意義だと思います。県PTAでこのような取組を継続して実施していただけますようよろしくお願いいたします。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (不知火小学校)	児童生徒数 (345) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 20,000円 内訳 ベトナムのお菓子や飲み物 紙皿や箸 中学生への御礼のベトナム食材
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容 異国文化交流 パキスタン・ベトナム・日本 今年度不知火小学校にはベトナムとパキスタンから来たお子さんが入学されました。そこで、そのお子さんたちの母国を知ること、文化や歴史、価値観の違いに気づき受け入れることで、国際化する社会に柔軟に対応できる意識を育むこと、さらに親子一緒に異国文化に接することで、親世代に私たちも海外への意識を高め、柔軟に受け入れる心を育むことをねらいとしました。内容としては、パキスタンファミリーへのインタビュー動画・松橋のベトナム食材の店の紹介トケ動画上映。パキスタンのデザート・ミルクティー、ベトナムのお菓子やジュース・コーヒーの試食試飲。国旗・民族衣装・各国の小学一年生の教科書の展示。不知火中学校2年生による『データで比べる日本・ベトナム・パキスタン』の調べ学習の展示です。</p>	
<p>◎成果 イベントを、『ふるさとの部屋』と題した地域交流イベント(体験活動)の日に合わせて開催し、保護者も参加や参観する日でもありましたので、活動後に立ち寄って頂くようにしました。たくさんのお子や保護者の方々に来ていただき、動画や展示物を見て、試食・試飲を楽しんで頂きました。当日参加できなかった方のために、後日不知火小学校PTA公式LINEで動画や写真を配信しました。</p>	
<p>◎反省 児童・保護者の中にはクラスや学年が違っていると、外国籍の児童が在籍しているのを知らない方も多かったのですが、今回のイベントでクラス・学年を超えて、さらに国を超えて交流が出来たことを喜んでいただいたと思います。また、そのファミリーも『いい企画をありがとう。もっと私たちのことを知って欲しい』と言っていたので、大成功だったと思っています。今回、企画から行動するまでに、ファミリーとコンタクトを取り、コミュニケーションを深めるところから始まりました。言葉の違いや考え方の違いで、すれ違うこともありました。しかし、積極的にかわって信頼を得ることで成功につながりました。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>今年度は、特別なイベントとして企画しましたが、外国籍の児童が増えるにあたって、通常イベントとして、不知火小学校のイベント『ふるさとの部屋』の一つのクラスとして、開催するのによいと思います。</p>	
4. 要望・その他	
<p>昨年同様、不知火小学校では新しい取り組みを行いました。その年その年で、社会情勢によって必要な取り組みが出てくると思います。義務感で毎年同じことをするのではなく、色々なことにチャレンジしていきたいと思っています。</p>	

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (上天草市立姫戸小学校PTA) 児童生徒数 (66) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入)	県P	20,000円	(支出)	20,000円
	単P	3,222円		3,222円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- (1) 目的 「親子ふれあいデー活動」を通して、児童・保護者・地域の方との交流を深める。
- (2) 日時 令和6年1月28日(日) 13:30~15:00(90分)
- (3) 場所 姫戸小学校体育館、運動場
- (4) 内容 次の2つの活動のいずれかに参加する。

【作る活動】手作りランプシェードの製作

参加67人 ※糸や和紙で作る。



ランプシェードの作り方は・・・

風船に糸(毛糸・和紙)を貼り付けて乾かし、ぼませれば完成! ぼませれば完成! キャンドルと組み合わせればおしゃなランプシェードの出来上がり♪

【動く活動】グラウンドゴルフ大会

参加38人 ※ふれあい活動特別ルール



グラウンドゴルフ、楽しいな～

地域の方、児童、保護者で7つのグループを作り、各ホールを回ります。参加者全員に参加賞(お菓子)があり、打数の少ない上位野方は活動内で表彰し、景品を♪

◎成果

- ・地域の方(学校運営協議会委員)にも参加していただき、「久しぶりに子ども達とふれあい、元気をもらいました。」等の感想を聞くことができた。
- ・それぞれの活動の事前準備を十分に行えたことで、参加者も見通しを持って参加することができ、とても温かい雰囲気の中で楽しみながら活動する様子が見られた。
- ・【動く活動】と【作る活動】の2つの活動で、それぞれが希望したい活動を事前に調査したことで、開会式後の活動場所への移動等もスムーズに行うことができ、活動時間を十分に確保することができた。
- ・今回の「親子ふれあいデー活動」の実施に向けて、PTA役員が複数回集まり、企画立案やランプシェードの事前試作、景品づくり等を行った。PTA役員1人1人がアイデアを出し合い新しい活動を作り上げていく過程の中で、役員同士のつながりがより深まり、PTA活動への達成感が高まった。



お菓子で作った景品とランプシェード



お菓子の豪華景品を受け取り喜ぶ子ども

◎反省

活動の実施に向けては、「活動内容をどうするのか」「開催日時をいつにするのか」等の協議を進めてきたものの学校行事等との関係から、内容及び開催時期ともに見直しを行った。そのため、次年度の取組については、本年度の活動を踏まえて年間計画に位置付ける必要がある。

3. 今後の取組について

ここ数年、コロナ禍に伴い中止していたPTA学年行事も、久しぶりに実施することができ、子どもも保護者も共に楽しい時間を過ごしながら親睦を深めることができた。しかし、PTA学年行事を開催するに当たり、「何を、どのように実施するのか」等、手探りの状況が多く見られた。そのため、今回の「親子ふれあいデー活動」も含め、今年度の実施した取組を記録として引継ぎ、次年度につなげていく必要がある。

4. 要望・その他

令和5年度「親子ふれあいデー活動」の委嘱を受け、このようなPTA主催のふれあい活動が実施できましたことに、感謝の気持ちでいっぱいである。新しい活動を企画して準備することはとても大変ではあったが、活動終了後には、無事にやり終えた安堵感と、楽しそうにふれあう親子の様子が思い出され、嬉しい気持ちになる。今後も是非、今回のような取組を行い、親子のつながりを深めていきたいと思う。

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (上天草市立登立小学校)	児童生徒数 (177) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) 材料費等 20,000円 (スーパーボール、ヨーヨー代、お手玉布代、講師お茶代等)
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容 「のびっこ祭り」の実施 日時：令和5年12月16日(土) 13:30～</p> <p>地域の各団体の協力を得て、児童が様々な活動を体験した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大矢野中学校吹奏楽部による演奏 ○上天草高校美術部によるペーパークラフト体験 ○上天草高校美術部及び大矢野中学校美術部による絵画展示 ○上天草高校福祉科による福祉体験 ○老人会、民生委員、社会福祉協議会による昔遊び体験 (竹馬、竹とんぼ、お手玉、わなげ、独楽まわし等) ○グランドゴルフ協会によるグランドゴルフ体験 ○地域の花卉農家の講師によるフラワーアレンジメント体験 ○PTAによるスーパーボールすくい、ヨーヨー釣り体験 ○PTAによる物品バザー ○PTAによるフォトコンテスト <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは、福祉体験やフラワーアレンジメント体験、ペーパークラフトなど、日頃できない体験をすることができ、とても充実した時間を過ごすことができた。 ・老人会や民生委員、社会福祉協議会、グランドゴルフ協会など、様々な地域の方々に来校いただいた。子供たちは、昔遊びなどを通して、地域の方々と楽しく交流した。また、保護者や教職員にとっても、地域の方々と交流するよい機会となった。 ・地域の中学校や高校、地域の方々の協力により、盛会のうちにのびっこ祭りを終えることができた。今回の催しを通して、「地域とともにある学校」を具現化することができた。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA行事として開催した。急な雨のため、役割分担などが十分対応できない部分があり、人手が不足していたコーナーもあった。 	
<p>3. 今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびっこ祭りは、次年度以降も継続して開催する予定である。協力を依頼する地域の中学校や高校、地域の各種団体との打ち合わせを早めに行い、PTA役員を中心に準備を進めながらより充実した催しとなるようにしていきたい。 ・PTA行事として、地域の方々に協力いただきながら子供たちのために体験活動を提供しているが、子供たちが自ら計画した地域に貢献できる活動を入れるなどして、子供の主体性を高めていきたい。 	
<p>4. 要望・その他</p> <p>本年度も、親子ふれあいデーの助成を受けることができ、大変感謝しております。今回の親子ふれあいデー活動の助成金により、充実した活動を行うことができました。今後も家庭、地域、学校が連携した活動が、さらに活性化していくように、ご支援をよろしくお願いいたします。</p>	

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (天草市立楠浦小学校)		児童生徒数 (106) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 7,400円 保護者負担金 45,100円 *保護者、児童宿泊費等	(支出)	施設使用料 46,500円 暖房使用料 3,100円 食材費 21,223円 その他 1,472円
	合計 72,500円		合計 72,295円 ※残金205円は卒業式の費用として使用
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 天草市新和町ひだまりの里研修館において、親子ふれあい活動を行った。			
1日目	(1) 開会式 (活動内容説明 施設説明)		17:30
	(2) 夕食づくり (カレーライス作り サラダ作り)		17:45
	(3) 会食 (児童と家族で会食)		18:30
	(4) 親子レクリエーション (クイズ大会 ビンゴ大会 ゲーム他)		19:30
	(5) 後片付け 就寝		21:30
2日目	(6) 解散式		8:00
◎成果 親子一緒に楽しく活動し、6年生にとって忘れられない思い出となった。新和ひだまりの里は運動施設、宿泊施設が整っており、保護者、児童が思う存分充実した活動をすることができた。活動を通して、児童同士や保護者同士、親子のつながりがさらに深まった。 毎年、学校のPTAからも、わずかな助成を行っているが、今年も昨年度から引き続き多くの助成をいただき保護者の負担が減少した。			
◎反省 感染症が流行し、10月に予定していた活動が12月末にずれ込んでしまった。期日を調整するのが難しかった。中心になって活動を企画運営してくださった保護者の方の負担が大きかった。			
3. 今後の取り組みについて			
来年度も親子レクリエーションを計画し、児童と保護者にとって楽しく思い出に残る活動を計画したい。			
4. 要望・その他			
多くの金額の助成をいただき、毎年実施してきた学年PTAレクリエーションがたいへん充実した活動となりました。ありがとうございました。			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (八代市立松高小学校)		児童生徒数 (768) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 6,989円 その他	(支出)	26,989円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
① 令和5年6月18日(日) 松の芽摘み(愛校作業)実施		② 令和6年1月7日(日) アマビエ祭(どんどや)実施	
 <p>* 各町内にわかれて松の芽摘み</p>   <p>* グラウンドの除草作業</p>		 <p>令和6年1月7日 発行：松高小学校PTA 会長：中川 あゆみ</p> <p>令和6年1月7日(日) 松高小学校PTA主催 アマビエ祭</p>      <p>令和5年度は、小規模で開催しました『アマビエ祭』を、令和6年度も子ども達の笑顔の為に開催いたしました。</p> <p>皆様、ご参加ありがとうございました</p> <p>* 広報誌『ときわJr.』にて報告</p>	
◎成果			
①について 地域・保護者・学校・児童が一緒になってシンボル松の木の剪定や美化作業を行いました。コロナ禍で4年ぶりの開催でしたが多くの皆様に参加していただき感謝です。			
②について 昨年度からどんどやを復活させアマビエ祭をしました。事前準備から当日まで大変でしたが、地域の皆さんや子供たちがきてくれて、楽しんでくれました。			
◎反省			
4年ぶりの愛好作業でしたので松の剪定など大変でした。事前に剪定の仕方などお話を行いましたが、なかなか難しかったです。事前にプリント配布などしていけたらと思います。アマビエ祭は、竹切りの場所の確保や櫓の組み方等、人数が少なかったため大変でした。事前準備から当日までの人手不足をどうするかが課題です。			
3. 今後の取り組みについて			
PTA主催や学校、地域と協力して、親子で楽しく参加できるイベントなどを実施できるように次年度も頑張りたいと思います。			
4. 要望・その他			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (芦北町立湯浦小学校PTA)		児童生徒数 (159) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 54,559円 その他 計 74,599円	(支出)	お茶代 8,280円 材料費 62,879円 保険代 3,400円 計 74,599円
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容 「湯小っ子フェスティバル(職業体験学習)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯浦小学校区の企業を中心に、学校の教室をブースに見立てて職業体験学習を実施。 ・1～3年生は決められた職業を体験。 ・4～6年生は、下の職業から2つ選択して体験。 (大工、建設業、医師・看護師、畳屋、電気工事、整備士、洋服屋、セラピスト、保育士、理容師、介護士、造園業) 			
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童達は集中して講師の話の聞き、積極的に発言するなど一生懸命取り組んでいた。 ・今回の職業体験学習を通して、児童達は働く大人と接したことで、働くことの難しさや楽しさ、やりがいを感じることができたと思える。 ・また、自分達が住む地域社会に関心を持ち、自分の可能性や将来について考えるきっかけになったと思う。 ・企業側にアンケートを実施した結果、返答があった14企業のうち13企業が「実施して良かった」との回答であり、「自分達の職業について知ってもらうことができ良かった。」「子ども達に教えることの難しさを知り、良い経験になった。」等の意見が合った。 			
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に企業に体験内容や準備物等を書面で提出してもらったが、11月2日に打合せ会議を実施したことで、ブースの変更や細かい準備物等の確認ができて良かった。 ・次年度実施するにあたり予算面が課題。次年度も親子ふれあいデー活動を申請する予定ではあるが、企業側に予算上限の設定依頼や体験内容次第では、児童から少額の費用を徴収することも考える。(ミニ畳など、作成した物を持ち帰る体験学習の場合。) ・今回は学年委員に体験の補助や写真撮影など協力をしてもらったが、他の保護者から体験の様子を見たかったという声があった。次年度は学年委員ではなく保護者全体にボランティア募集をかけ、保護者にも興味を持ってもらう。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・PTCA活動の一環として、次年度も実施していきたい。 ・湯小っ子フェスティバル(職業体験学習)を通じて、保護者と学校、地域との関係強化を図り、今後新たなPTAC活動に繋げていきたい。 			
4. 要望・その他			
<p>活動補助金のお陰で、今回の活動を実施することができました。次年度も実施するにあたり申請をしたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (人吉市立東間小学校)		児童生徒数 (311) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	20,000円	(支出) 料理材料代
	単P	2,419円	会場代
	その他	9,600円	26,299円
			5,720円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
子供たちによる郷土料理の調理指導。			
◎成果			
保護者や支援ボランティアの協力のもと、地元慣れ親しんだ郷土料理の調理を実施した。地元の料理の歴史を知ることによって地元への関心を持つことができ、また支援ボランティアの方々と触れ合うことができ地域の輪が広がりました。			
◎反省			
調理以外の活動も計画していましたが、インフルエンザ等の蔓延で実施ができませんでした。状況や時期を調整し、できる限り実施をしていければと考えられました。			
3. 今後の取り組みについて			
現在まで花壇の清掃や調理実習を行ってきましたが、今後は更なる取り組みの輪を広げていき、学校関係者や地域の皆さんとの輪をより広げていければと考えています。			
4. 要望・その他			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (人吉市立第一中学校PTA)		児童生徒数 (400) 人	
1. 予算執行状況			
(収入)	県P	20,000円	(支出) 門松材料費
	単P	26,200円	46,200円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
あいさつ運動			
・毎月月初めの5日間、中学校の正門前でPTA執行委員及び学校職員があいさつ運動を実施し、生徒の登校の様子を見守った。			
門松づくり (実施日 令和5年12月9日(土))			
・学校支援ボランティアの協力を得て、PTA役員、学校職員及び生徒会執行部で、中学校の正門前に一對の門松を作成した。			
◎成果			
・「あいさつ運動」は、始めた当初よりも次第に大きな声で挨拶ができるようになり、生徒とのふれあいの場となった。			
・「門松づくり」は、古くから伝わる伝統文化であり、学校支援ボランティアの方に指導を仰ぎながら実施した。門松作成を通じて、生徒はもとより保護者も伝統継承の大切さを実感するとともに、生徒、保護者及び学校支援ボランティア相互の親睦を深めることができた。			
◎反省			
・門松づくりに併せて、人吉球磨地方の郷土料理であるつぼん汁づくりを実施する予定であったが、インフルエンザ罹患者が増加し、学級閉鎖が数クラスに及んだことに伴い、急遽中止した。			
・主にPTA役員の参加となっており、会員の参加協力が少ない。			
3. 今後の取り組みについて			
・あいさつ運動及び門松づくりは、今後も継続して実施していきたい。			
・生徒と保護者がふれあう活動について、PTA役員だけに限らず、広く参加できるような行事を検討して実施したい。			
4. その他			
・本年度、活動に対して助成していただき大変感謝しております。今後もこの事業を活用させていただきたいと思っております。			

親子ふれあいデー活動報告書

令和5年度

単位PTA名（ 水上村立水上学園前期課程 ）	児童生徒数（ 100 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県P 20000円 単P 0円 その他 0円 計 20000円	(支出) 読み聞かせ用図書 20000円 計 20000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
(1) 保護者による読み聞かせ（9月から2月の業間活動で実施） (2) ファミリー読書（5月と10月に実施）	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者による読み聞かせは、9月から2月に業間（15分）の時間に実施し、児童も楽しみながら話を聞くことができた。保護者の方も積極的に参加、協力していただいた。 ・ファミリー読書については、親子で取り組んだ本の題名や内容の紹介等をシートに書いてもらい、全児童分を図書室に掲示した。取組状況を把握できるとともに、児童同士の交流や読書意欲の向上につなげることができた。また、保護者が授業参観等で掲示内容を目にすることで、家庭での読書活動の動機付けにもつながった。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについては、年度途中からの取組となり、年間を通じた実施ができなかった。 今後は、年間を通じた計画的な取組を進めたい。また、読み聞かせをしていただく方の人数確保が難しくなっている。	
3. 今後の取り組みについて	
(1) 読み聞かせ活動の年間を通じた実施、関係機関と連携した協力者数の確保 (2) ファミリー読書の推進（学校ホームページや学年通信等での発信） (3) 家庭版テーマ読書の実施	
4. 要望・その他	
・年度途中からではあったが、10月から2月まで継続的な「読み聞かせ」の実施ができた。来年度は年間を通じた取組を実施していきたい。また、一人一台のタブレット端末を活用して、家庭での読書活動をまとめたり、交流したりする取組も探していきたい。	